

東松照明と沖縄 太陽へのラブレター

TOMATSU, Shomei + Okinawa Photographs ~Love letter to the sun~



渡嘉敷 1973 TOMATSU, Shomei

2011年9月23日(金) - 11月20日(日)

- 9時-18時、金・土は9時-20時(入場は閉館30分前まで) ● 休館日:月曜日(月曜日が祝日の場合は開館、翌日休館) ● 会場:沖縄県立博物館・美術館 企画ギャラリー1・2
- 観覧料:一般1,000(800)円、高校・大学生700(560)円、小・中学生300(240)円 ● ()内は前売り及び20名以上の団体料金
- プレイガイド:ミュージアムショップゆいむい、リウボウサービスカウンター、コープあぶれ、ファミリーマート各店(イーグラス)、ローソン各店(Lコード:81889)、ジュンク堂書店那覇店、Booksきょうはん美浜店・一日橋店・とよみ店・安謝店、田園書房宜野湾店、球陽堂書房那覇メインプレイス店・西原シティ店、TSUTAYA 那覇新都心店・首里店
- 主催:沖縄県立博物館・美術館 ■ 後援:沖縄県写真協会、沖縄写真連盟、公益社団法人日本写真協会、公益社団法人日本写真家協会、財団法人沖縄観光コンベンションビューロー、NHK沖縄放送局、沖縄テレビ放送株式会社、琉球放送株式会社、琉球朝日放送株式会社、株式会社エフエム沖縄、株式会社ラジオ沖縄、沖縄タイムス社、琉球新報社、タイフーン fm
- プリント協力:キャンマークetingジャパン株式会社、Hahnemühle、ラエットグラフ株式会社 ■ 協賛:株式会社東洋企画印刷、株式会社大和プレス

沖縄県立博物館・美術館 Okinawa Prefectural Museum & Art Museum

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号
電話:098-941-8200(代表)
<http://www.museums.pref.okinawa.jp/>

東松照明と沖縄 太陽へのラブレター

TOMATSU, Shomei + Okinawa Photographs ~Love letter to the sun~

戦後日本の写真史に数々の重要な足跡を残し、「写真の巨人」と評される東松照明(とうまつしょうめい1930-)は、日本の戦後史の特徴をアメリカニゼーション(米国化)と捉え、1959-67年にかけて全国の米軍基地周辺を取材する。そして占領シリーズの最後の地として1969年に初めて沖縄を訪れ<OKINAWA 沖縄 OKINAWA>(1969年)を制作した。しかし、沖縄の島々を取材する中で、アメリカニゼーションを拒む強靱で良質な文化と遭遇し、その強烈なカルチャーショックがのちに名作<太陽の鉛筆>(1975年)へと結実する。

以来、東松は現在まで42年間にわたり沖縄を見続け、戦後日本の写真界、とりわけ沖縄の写真家に大きな影響を与えてきた。本展覧会では、沖縄に関する重要な写真集を作品で追い、2011年に撮影された最新作まで240点を一堂に展示し、その写真思想に迫るものである。



波照間島1971 (太陽の鉛筆)



北海道千歳1959 (チューインガムとチョコレート)



嘉手納1969 (OKINAWA 沖縄 OKINAWA) 上段/那覇2011

【展示構成】

- I 章 敗戦日本の原風景 <チューインガムとチョコレート>1959-67
- II 章 占領シリーズ最後の地「沖縄」 <OKINAWA 沖縄 OKINAWA>1969
- III 章 「さびしさを思想化せよ。」 <太陽の鉛筆>1969-1973
- IV 章 カラーへの転換 <南島> <光る風> 1973-1979
- V 章 写真はイメージで綴るラブレター <琉球ちゃんぶるう> - 2011

出品総数/約240点(モノクロプリント約128点、大型カラープリント約112点)

【関連イベント】

シンポジウム① (本展の鑑賞券または半券が必要です。)

- 日時 10月2日(日)14~18時
会場 博物館・美術館 講堂
- 第1部 対談「太陽の鉛筆」と宮古大学(仮題)
東松照明氏
下地恵子氏(元・宮古大学メンバー)
- 第2部 基調講演「インターフェイスへー東松照明の作品世界」
講師 飯沢耕太郎氏(写真評論家)
- 第3部 パネルディスカッション
◆パネリスト/飯沢耕太郎氏、大城弘明氏(写真家)、下地恵子氏、金平茂紀氏(TBS「報道特集」キャスター・同局執行役員)
◆コーディネーター/仲里効氏(批評家)

シンポジウム② (本展の鑑賞券または半券が必要です。)

- 日時 10月30日(日)14~17時
会場 博物館・美術館 講堂
- 第1部 対談「さびしさを思想化せよ。」(仮題)
東松照明氏
吉増剛造氏(詩人)
- 第2部 パネルディスカッション
◆パネリスト/石川直樹氏(写真家)、宮良信男氏(写真家)、今都義氏(北谷町生涯学習プラザ館長)、タイラジュン氏(写真雑誌「LP」編集発行)、根間智子氏(美術家)
◆コーディネーター/新里義和(本展担当学芸員)

ギャラリー・トーク (本展の当日有効の観覧券が必要です。)

- ◆ 9月24日(土) 山田 實氏(写真家) ◆10月 1日(土) 宮良信男氏(写真家)
- ◆10月 8日(土) 大城弘明氏(写真家) ◆10月15日(土) 翁長直樹氏(美術評論家)
- ◆11月19日(土) 仲里 効氏(批評家) 時間/15~16時 会場/企画ギャラリー内

本展担当学芸員によるキュレーター・トーク (本展の当日有効の観覧券が必要です。)

日時/10月22日(土)・11月5日(土)15~16時 (新里義和) 会場/企画ギャラリー内

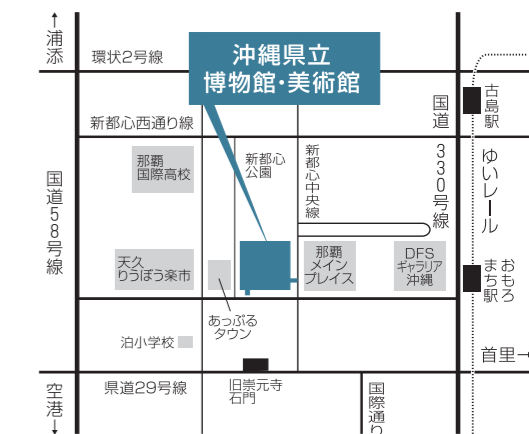
デジタルワークショップ展覧会

会期:9月27日(火)~10月2日(日) 会場/県民ギャラリー2・3、県民ギャラリースタジオ
展覧会に先駆けて行った「デジタルワークショップ」で制作した作品を展示します。

【アクセス】

- バス (那覇空港発)
 - 99番線 おもろまち3丁目バス停下車 徒歩05分
 - 120番線 上之屋バス停下車 徒歩10分
- (市内線)
 - 3・7・10番線 県立博物館前バス停下車
 - 6番線 那覇メインプレイス東口バス停下車 徒歩05分
- (市外線)
 - パイバス経由 おもろまち駅前バス停下車 徒歩10分
 - 国道58号経由 上之屋バス停下車 徒歩10分
 - おもろまち行 おもろまち1丁目バス停下車 徒歩03分
- 沖縄都市モノレール (ゆいレール) おもろまち駅下車 徒歩10分

※駐車場は台数が限られておりますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



お問い合わせ

沖縄県立博物館・美術館

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1 TEL(098)941-8200(代表)
<http://www.museums.pref.okinawa.jp/>